

市長との意見交換会におけるアンケートによる質問について（回答）

<p>《質問》 コロナで何人が入院していますか。</p>
<p>《回答》 当院は兵庫県より新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受けており、専用病棟を設置し、県内在住の陽性患者の入院受け入れをおこなっております。人数の詳細は非公表としておりますので、回答を控えさせていただきます。</p>
<p>《質問》 知人は高砂市民病院を受診したが、白内障の手術であったのに違う病院を紹介されたと聞きました。眼科の手術は出来ないのですか。</p>
<p>《回答》 当院でも白内障の手術は行っております。但し、短期入院での手術を希望される方、手術の合併症が考えられ二次手術の可能性が高い方や多焦点レンズ（自費）を希望される方については、対応出来る医療機関をご紹介します。</p>
<p>《質問》 去年、救急車をお願いした時に〇〇病院か□□病院かと言われました。高砂市民病院は入っていないのですか。</p>
<p>《回答》 平日・日曜日の夜間と祝祭日の終日の担当医は、内科以外の診療科の医師も担当しており、病状により対応出来ない場合があります。救急隊員も当院の担当医を把握しており、適切な判断の下に搬送先を決定しております。 平日の日中は、可能な限り救急要請に対応したいと考えております。</p>
<p>《質問》 今後どうするのかのプランを聞きたかった。</p>
<p>《回答》 市民のみなさまのご意見も参考にし、令和2年度中に再建計画を策定し、経営改善に努めてまいります。</p>
<p>《質問》 入院患者数、通院患者数等が時系列のグラフがありましたが、その内高齢者の割合がどうなのかチェックされていますか。</p>
<p>《回答》 毎月の稼働統計データよりデータ抽出を行い、活用しております。</p>
<p>《質問》 医師数に依存しない形として、特定行為研修を修了した看護師やナースプラクティショナーの活用についてのお考えを聴きたい。</p>
<p>《回答》 ご提案の看護師は、医師の判断を待たずに一定の診療補助が可能であり、医師不在時での緊急対応などにおいて非常に重要な存在となります。 現在、特定行為研修を修了した看護師1名が在籍しており、今年度中の実践活動開始予定です。今後、認定資格を含め、多数の看護師を輩出したいと考えております。</p>
<p>《質問》 ベッドコントロールの効率化と他職種多機能連携による退院支援体制の現状の取り組みや今後の方略について教えてください。</p>
<p>《回答》 少子高齢化、生活形態の多様化により、患者の退院先は多岐にわたります。当院の退院調整部門では、看護師、社会福祉士を中心として院内はもとより、行政や福祉、介護関係団体等と連携して退院支援を行っております。今後も関係団体との連携強化により、効率的、効果的な退院調整によるベッドコントロールに努めていきます。</p>

《質問》高砂市民病院訪問看護ステーションの今後の展望は？

例) 大規模多機能型を目指すのか？

《回答》現状では、大規模多機能型は考えておりません。

当院としては、民間の訪問看護ステーション様との機能・役割分担により、病院併設型の特性を活かした質の高い事業を行いたいと考えております。

《質問》在宅医療との連携について、具体的な方策を教えてください。

《回答》地域包括ケア病棟では、在宅医療を受けている方の急変時の入院受け入れや介護される家族の小休止としてのレスパイト入院を行っております。また、訪問看護では、訪問看護ステーション配属の看護師を中心にしながら、必要に応じて認定看護師や特定行為研修を修了した看護師による訪問看護で、在宅医療を受けられている方が少しでも安心して在宅での医療を受けていただけたらと考えています。

《質問》「神戸大学からの信頼回復」云々についていきさつを聞きたい。

《回答》一部の診療科において、長年にわたり神戸大学との交流が出来ていませんでした。神戸大学は最大の医師派遣元であり、交流なくして医師の派遣は期待出来ません。大学が医師派遣を行わない病院は、神戸大学系研修医に魅力のない病院と評価されます。医師をはじめ病院職員の意識改革を行い、神戸大学の信頼回復に努める必要があります。

《質問》厚労省からの統合、地方独立行政法人対応には今後どうしていくのか。

《回答》当院は、「再編」が必要な病院と指定されました。しかし、厚労省の公表より以前に既に「再編」に取り組んでおり、地域の医療需要を鑑み、急性期機能の一部を回復期機能に転換しました。また、令和2年4月には許可病床数を199床にダウンサイジングする見直しを行いました。

高砂市としては、市民のみなさまのご意見も参考にして新改革プランを策定し、経営改善を図り、現状は公立病院としての経営形態を維持していきたいと考えております。

《質問》高砂市民病院が赤字経営となった原因について（外部・内部要因）

《回答》外部要因について、最大の要因は加古川中央市民病院の開設及び内科医師の減少です。特に収益性の高いがん手術や化学療法の患者が激減しました。

内部要因について、開業医の先生方や市民のみなさまへの営業活動（PR）不足と考えており、この点については改善してまいります。

《質問》コロナの重症患者の対応を教えてください。

《回答》重症患者の入院対応については、人員、医療設備などの充実が必要となり、東播磨圏域では感染病床を持つ加古川医療センターで入院対応を行うことになっております。よって、当院では重症患者の対応は困難ですが、今後、陽性患者が増大した場合には、保健所とも協議しながら適切な対応を行っていきたいと考えております。